

## 「新・湯治推進プラン」実現に向けた環境省ロードマップ（案）

昨年7月に有識者会議により、「自然等の地域資源を活かした温泉地の活性化に向けた提言～『新・湯治－ONSEN stay』の推進～」をいただきました。提言中の「新・湯治推進プラン」を実現していくために、環境省が実施する事業等のロードマップを以下のとおりとします。

ロードマップは2018年度から2022年度（5年間）の取組を示し、特に記載がなければ目標も5年後のものとしています。

**1 「チーム 新・湯治」の活動を展開します。**

「新・湯治」を普及し、「新・湯治」を提供する場としての新しい温泉地を作っていくために、考えを共有する地域、自治体、団体等を「チーム 新・湯治」として緩やかにネットワークでつなぎ、互いに情報・意見交換するとともに、温泉地と企業等のマッチングを促進します。

また、政府内の関係する省庁（内閣府、厚生労働省、経済産業省、観光庁等）と連携を進め、「チーム 新・湯治」ともつなげていきます。

## ○ 活動内容

- ・ ホームページ開設、環境省やチーム員からの情報を共有
- ・ 全国会議や分野別セミナーの開催 等

## ○ スケジュール

- 2018.4～ 「チーム 新・湯治」チーム員の募集開始
- 2018.5. 25 「チーム 新・湯治」キックオフ（於全国温泉地サミット）
- 2018.5～ 年1回の全国会議（全国温泉地サミットの発展形）、年2回程度のセミナー開催を予定

## ○ 目標

チーム員を200以上とし、「新・湯治」を普及

**2 全国「新・湯治」効果測定調査プロジェクトを実施します。**

温泉地で過ごすことのリフレッシュ効果等を把握する調査を全国で実施し、結果を温泉地のPR等に活用します。また、調査実施の過程で、「新・湯治」の普及を図ります。

- 活動内容
  - ・ 環境省が作成する統一フォーマット（調査票）を活用し、温泉地において温泉利用者に記入を依頼し、回収・入力の上、環境省に集約
  - ・ 全国のデータを取りまとめて公表（年度ごとの予定）
- スケジュール
  - 2018.5.25～ 調査方法の公表と協力温泉地募集開始（於全国温泉地サミット）、随時調査実施
  - 2019.3 2018年度分のとりまとめと調査表の見直し
  - 2019.4 2019年度調査開始
  - ※ 2020年度までの3年間で第1期として実施し、次期の展開を再検討
- 目標
  - 2020年度までの3年間で延べ50温泉地、10,000人のデータ収集

### 3 温泉熱の有効活用を進めます。

温泉熱の有効活用は、温暖化対策のみならず、燃料代等の節約にもつながり地域経済の安定においても重要ですが、まだまだ十分とはいえません。有効活用を促進するため、「温泉熱有効活用のためのガイドライン（仮）」を作成して普及を図るとともに、補助事業の効果的な運用を行います。

- 活動内容
  - ・ 温泉熱有効活用のためのガイドラインを策定し、普及のためのセミナーを開催
  - ・ エネルギー特別会計による補助事業の有効活用
- スケジュール
  - 2018.4 一部補助事業の補助対象の民間事業者への拡大
  - 2018年度～ ガイドライン作成のための実証事業、セミナー開催、補助事業の見直し検討
  - 2019.3 ガイドライン公表
  - 2019年度～ ガイドライン普及、補助事業の効果的な運用（継続）
- 目標
  - ・ 温泉地における温泉熱活用への関心度を高める（指標はこれから検討）
  - ・ 年間10地域程度において補助事業を実施（現在は約5地域程度）

#### 4 国民保養温泉地の活用方法を検討します。

国民保養温泉地は、国民の保養・休養の場として環境省が指定している温泉地であり、「新・湯治推進プラン」の中核的な役割を担うことが求められます。一方で、国民保養温泉地の知名度は高いとは言えず、プランの推進の過程で、国民保養温泉地の社会的な意義の改めて見直し、その向上に努めます。

##### ○ 活動内容

- ・ 全ての国民保養温泉地について、平成 24 年（2012 年）に見直した選定標準に沿った計画書の見直し
- ・ 国民保養温泉地における「新・湯治」の推進方法の検討

##### ○ スケジュール

- 2018 年度～ 国民保養温泉地と「新・湯治」の推進方策等についての意見交換を開始
- 2020 年度 全地域の計画書の見直しを完了  
「新・湯治」推進を通じた国民保養温泉地のあり方について方針を示す
- 2021 年度～ 方針に基づいた取組を実施

##### ○ 目標

- ・ すべての国民保養温泉地において「新・湯治」に関連する取組が実施されている

#### 5 国立公園満喫プロジェクト等と連携し、インバウンド対策を推進します。

外国人旅行者のニーズが多様化する中で、温泉地への旅行者も増加傾向にあります。また、国立公園ではインバウンドを推進する国立公園満喫プロジェクトが進行中で、外国人旅行者の受け入れ環境の整備が進んでいます。

「チーム 新・湯治」において、インバウンドをテーマとしたセミナーを開催するなどにより情報提供を行うほか、国立公園満喫プロジェクトとの連携を行います。

##### ○ 活動内容

- ・ 温泉の効能等についての多言語での情報を提供し、国立公園満喫プロジェクト等で活用

- ・ 「チーム 新・湯治」において、インバウンドセミナーを開催
- スケジュール
  - 2018 年度 温泉の効能等についての英語版情報を公表
  - 2019 年度～ 温泉の効能等について英語以外の言語でも作成  
インバウンドセミナーの開催 等
- 目標
  - ・ 温泉地を訪問する外国人観光客数を増加させる（指標はこれから検討）

【工程表】

	2018	2019	2020	2021	2022	
1 「チーム新・湯治」の活動展開	●	「チーム 新・湯治」の活動を展開				
2 効果測定プロジェクト	●	効果測定プロジェクト実施			●	第2弾の実施（仮）
3 温泉熱の有効活用	●	ガイドライン作成	普及活動			
	●	補助事業の効果的な運用				
4 国民保養温泉地の活用検討	●	国民保養温泉地の活用推進方策検討			●	
	●	計画見直し作業				
5 インバウンド対策	●	国立公園満喫プロジェクトと連携				
	●	効能等の多言語情報の公表、セミナー等の実施				

# 全国「新・湯治」効果測定調査プロジェクトへご協力をお願い

現在、本温泉地では、環境省が推進する「新・湯治」の幅広い効果検証のため、**温泉に入浴された**皆様を対象に調査を実施しています。「新・湯治」とは、従来の温泉地での過ごし方から、温泉入浴に加え、周辺の自然等を活かしたプログラム等を楽しむことを通じて、現代人のライフスタイルに合った温泉地での過ごし方を提案するものです。

いただきました貴重なご意見は、全国の温泉地全体での療養効果等の把握に使用させていただき、今後の温泉地の新たなあり方のために活用させていただきます。趣旨ご理解賜り、アンケートにご協力くださいますようお願い申し上げます。

※自然等の地域資源を活かした温泉地の活性化に向けた提言

－「新・湯治」の推進に関する環境省ホームページ

<http://www.env.go.jp/press/104349.html>

調査主体：

連絡先：

【1】本調査票の記入日と本温泉地での滞在時間を教えてください。(○はひとつだけ)

年	月	日	1. 日帰り	2. 一泊二日	3. 二泊三	4. 三泊以上
---	---	---	--------	---------	--------	---------

【2】あなたの現在の健康状態はいかがですか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1. よい	2. まあよい	3. ふつう	4. あまりよくない	5. よくない
-------	---------	--------	------------	---------

【3】今回の旅行の主な目的はどれですか。(○はひとつだけ)

1. 温泉	6. 飲食
2. 宿泊施設	7. 温泉地の祭りやイベント
3. 観光(名所旧跡、自然景観、文化施設等の見学)	8. 帰省、冠婚葬祭関連、親族や知人の訪問
4. スポーツ(ゴルフやスキー等)	9. ビジネス、研修など
5. 買い物	10. その他( )

【4】この温泉を利用した目的は何ですか。(○はいくつでも)

1. 筋肉、関節の慢性的な痛み、こわばりの改善 (関節リウマチ、変形性関節症、腰痛症、神経痛、 五十肩、打撲、捻挫などの慢性期)	9. 痔の痛みの改善
2. 運動麻痺における筋肉のこわばりの改善	10. 自律神経不安定症やストレスによる諸症状 (睡眠障害、うつ状態など)の改善
3. 冷え性、末梢循環障害の改善	11. 病後回復期の改善
4. 胃腸機能の低下(胃がもたれる、ガスがたまる など)の改善	12. 疲労回復、健康増進(生活習慣病改善など)
5. 高血圧の改善	13. ストレス解消(リフレッシュ)
6. 耐糖能異常(糖尿病)の改善	14. 美容、若返り
7. 高コレステロール血症の改善	15. 温泉が好きだから
8. 喘息・肺気腫の改善	16. なんとなく、特にない
	17. その他( )

【5】この温泉地に来て、どのような感想を持ちましたか。(該当する数字に○は1つだけ)

	とても そう思う	そう思う	やや そう思う	ややそう 思わない	そう 思わない	全くそう 思わない
①癒された	6	5	4	3	2	1
②わくわくした、楽しかった	6	5	4	3	2	1
③リフレッシュできた	6	5	4	3	2	1
④良い思い出ができた	6	5	4	3	2	1

【6】この温泉地に**来る前の普段の状態と比べて、今はどのような健康状態ですか。**(○は1つだけ)

	とても そう思う	そう思う	やや そう思う	変わら ない	ややそう 思わない	そう 思わない	全くそう 思わない
① より健康になった	3	2	1	0	-1	-2	-3
② より幸せを感じるようになった	3	2	1	0	-1	-2	-3
③ ぐっすりとした良い睡眠が取れるようになった(取れそうになった)	3	2	1	0	-1	-2	-3
④ 肌の調子が良くなった	3	2	1	0	-1	-2	-3
⑤ 食欲が増した	3	2	1	0	-1	-2	-3
⑥ ストレスが少なくなった	3	2	1	0	-1	-2	-3
⑦ 疲労が少なくなった	3	2	1	0	-1	-2	-3
⑧ 冷えが少なくなった	3	2	1	0	-1	-2	-3
⑨ 肩・腰・ひざなどのコリや痛みが少なくなった	3	2	1	0	-1	-2	-3
⑩ ゆうつな気分が少なくなった	3	2	1	0	-1	-2	-3
⑪ むくみが少なくなった	3	2	1	0	-1	-2	-3

【7】この温泉地ではどんなことをしましたか。(○はいくつでも) おおよその回数や時間をご記入ください。

1. 温泉に入浴すること	(	回)
2. 息が弾み汗をかく程度の運動 (ゴルフ、スキー、登山など)	(	分)
3. 周遊観光や食べ歩き、買い物など、歩行又はそれと同等以上の活動	(	分)
4. マッサージやエステなどの保養や休養	(	分)
5. 宴会		
6. その他の活動 (内容:		分)
7. 何もしていない		

【8】この温泉地に対する感想をお聞かせください。

【9】温泉地には1年に何回ほど訪れますか。(○はひとつだけ)

1. 年に1回	2. 年2~3回	3. 年4~5回	4. 年6回以上
---------	----------	----------	----------

【10】今回のアンケートに対する感想をお聞かせください。

【11】あなた自身の住所・性別・年齢・現在通院中の病気などについて教えてください。

日本以外 (国名)		都 道 府 県	1. 男性 2. 女性	歳	現在通院中の病気: なし・あり ( )
-----------	--	------------	----------------	---	------------------------

～ ご協力ありがとうございました

## 環境省 全国「新・湯治」効果測定調査プロジェクト

## 共同研究参加申請書（兼）調査計画書

〇〇〇〇 宛

申請者所属機関・施設名 \_\_\_\_\_

申請者職名・氏名 \_\_\_\_\_ 印

以下の通り、環境省全国「新・湯治」効果測定調査プロジェクトに参加しますので計画書を提出します。

調 査 名	環境省全国「新・湯治」効果測定調査プロジェクト	
調 査 対 象	調査対象者等	<input type="checkbox"/> 温泉宿泊施設宿泊者（温泉地、施設等： _____） <input type="checkbox"/> 日帰り温泉施設利用者（温泉地、施設等： _____）
	調査方法	配布： <input type="checkbox"/> 調査票手渡し <input type="checkbox"/> インターネット等利用 <input type="checkbox"/> その他（ _____） 回収： <input type="checkbox"/> 手渡し <input type="checkbox"/> 回収箱等 <input type="checkbox"/> 郵送 <input type="checkbox"/> インターネット等利用 <input type="checkbox"/> その他（ _____）
	調査対象者数	予定人数（ _____ ）人
調査内容	・環境省全国「新・湯治」効果測定調査プロジェクト調査票 （『全国「新・湯治」効果測定調査プロジェクトへのご協力へのお願い』） <input type="checkbox"/> その他の追加項目（ _____ ）	
調査時期	（西暦） _____ 年 _____ 月 _____ 日～ _____ 年 _____ 月 _____ 日 <input type="checkbox"/> 予定 <input type="checkbox"/> 決定	
調査解析方法	・環境省が行う全国の温泉地のデータとの結合による解析 ・各温泉地分のデータ解析 <input type="checkbox"/> 行う → <input type="checkbox"/> 〇〇〇〇へ依頼（予定含む） <input type="checkbox"/> 自らで行う <input type="checkbox"/> 行わない ・独自解析の追加 <input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	
調査結果の活用法	・全国の温泉地のデータと統合して解析し「新・湯治」の効果を評価 ・各温泉地分の調査結果活用について（予定も含む） <input type="checkbox"/> 活用する→ <input type="checkbox"/> 広報活動 <input type="checkbox"/> 住民の健康増進 <input type="checkbox"/> 学術研究 <input type="checkbox"/> その他（ _____） <input type="checkbox"/> 活用しない ※結果を広報活動、学術研究に用いる場合〇〇〇〇へ事前にご相談ください。	
確認事項	・研究に関する各種ガイドラインを遵守し、公正な調査を行います。 ・得られたデータや結果の捏造、改ざん、及び他者の研究成果等の盗用はいたしません。 ・得られたデータについて個人が同定できる形での公開はいたしません。 以上を確認し、順守いたします。 <input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ	
申請者連絡先	住所：〒 _____ 電話番号： _____ メール： _____ 担当者氏名： _____	

## 環境省 全国「新・湯治」効果測定調査プロジェクト

## 共同研究参加申請書（兼）調査計画書

〇〇〇〇 宛

申請者所属機関・施設名 〇〇温泉観光協会申請者職名・氏名 理事長 〇〇 〇〇 印

以下の通り、環境省全国「新・湯治」効果測定調査プロジェクトに参加しますので計画書を提出します。

調 査 名	環境省全国「新・湯治」効果測定調査プロジェクト	
調 査 対 象	調査対象者等	<input checked="" type="checkbox"/> 温泉宿泊施設宿泊者（温泉地、施設等： 〇〇温泉地内宿泊者 ） <input type="checkbox"/> 日帰り温泉施設利用者（温泉地、施設等： ）
	調査方法	配布： <input checked="" type="checkbox"/> 調査票手渡し <input type="checkbox"/> インターネット等利用 <input type="checkbox"/> その他（ ） 回収： <input checked="" type="checkbox"/> 手渡し <input checked="" type="checkbox"/> 回収箱等 <input type="checkbox"/> 郵送 <input type="checkbox"/> インターネット等利用 <input type="checkbox"/> その他（ ）
	調査対象者数	予定人数（ 100 ）人
調査内容	・環境省全国「新・湯治」効果測定調査プロジェクト調査票 （『全国「新・湯治」効果測定調査プロジェクトへのご協力へのお願い』） <input type="checkbox"/> その他の追加項目（ ）	
調査時期	（西暦）2018年〇月〇日～ 2018年〇月〇日 <input checked="" type="checkbox"/> 予定 <input type="checkbox"/> 決定	
調査解析方法	・環境省が行う全国の温泉地のデータとの結合による解析 ・各温泉地分のデータ解析 <input checked="" type="checkbox"/> 行う → <input checked="" type="checkbox"/> 〇〇〇〇へ依頼（予定含む） <input type="checkbox"/> 自らで行う <input type="checkbox"/> 行わない ・独自解析の追加 <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	
調査結果の活用法	・全国の温泉地のデータと統合して解析し「新・湯治」の効果を評価 ・各温泉地分の調査結果活用について（予定も含む） <input checked="" type="checkbox"/> 活用する → <input checked="" type="checkbox"/> 広報活動 <input checked="" type="checkbox"/> 住民の健康増進 <input type="checkbox"/> 学術研究 <input type="checkbox"/> その他（ ） <input type="checkbox"/> 活用しない ※結果を広報活動、学術研究に用いる場合〇〇〇〇へ事前にご相談ください。	
確認事項	・研究に関する各種ガイドラインを遵守し、公正な調査を行います。 ・得られたデータや結果の捏造、改ざん、及び他者の研究成果等の盗用はいたしません。 ・得られたデータについて個人が同定できる形での公開はいたしません。 以上を確認し、順守いたします。 <input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ	
申請者連絡先	住所：〒000-0000 〇〇〇〇 電話番号：〇〇〇〇 メール：〇〇〇〇 担当者氏名：〇〇〇〇	



環境省  
全国「新・湯治」  
効果測定調査  
プロジェクト  
実施マニュアル  
2018



### ■目的

日本国内には約 3,000 の温泉地が存在しており、その多くが従来から地域の重要な健康増進や観光の中核になっています。

温泉地の魅力の1つとして、健康増進効果やリフレッシュ効果があげられますが、温泉地全体の療養効果を科学的に示しているものは多くありません。そこで、本調査を行うことで温泉地に滞在することの効果、すなわち温泉地全体がどのように心身へ影響を与えるかを抽出し、温泉地の魅力向上、人々の健康増進へ寄与すること期待しています。

#### [新・湯治とは]

- ・温泉地訪問者が、温泉入浴に加えて、周辺の自然、歴史・文化、食などを活かした多様なプログラムを楽しみ、地域の人や他の訪問者とふれあい、心身ともに元気になること
- ・年代、国籍を問わず楽しめること
- ・滞在期間を問わないが、より長期の滞在を行うことが効果的

### ■調査地点

調査対象地域内に所在する、宿泊施設・観光施設・観光案内などで、温泉地で温泉を利用した成人の観光客に本調査票を配布し、記入を依頼してください。

### ■調査時期・期間・方法

調査開始～2019年2月末までの間で実施してください。回答が多い方が意義のある結果が出ます。実施前に調査計画書（別添）を環境省が指定する事業者へ提出してください。

### ■回収・集計・分析

所定のフォーマット（URL）に集計の上、本調査の受託事業者である〇〇〇へご送付ください。環境省において他の温泉地のデータと合わせて再解析をし、日本の温泉地全体の効果を明らかにします。個別の温泉地のデータは公表しません。

### ■結果の活用・公表

環境省が温泉地の活性化や当該温泉地のPRに活用します。個別にPRをご希望される場合は、環境省が指定する事業者までご連絡ください。

#### 実施主体

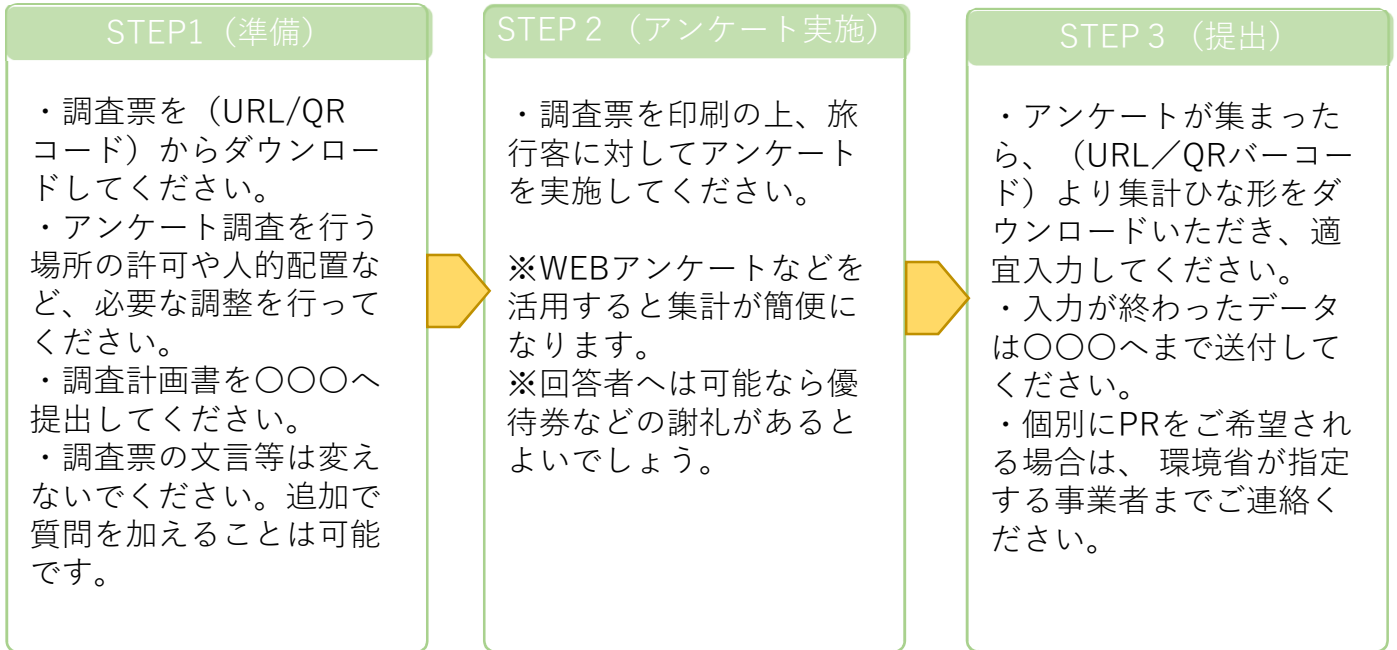
環境省自然環境局  
自然環境整備課温泉地保護利用推進室

#### 本プロジェクトについてのお問い合わせ

〇〇〇  
住所：

TEL：

## ■調査の流れ



※結果の入力・集計については別途有料にて環境省が指定する事業者に依頼することも可能です。

## ■新・湯治推進プラン (<http://www.env.go.jp/press/104349.html>)

「新・湯治」を提供する場として新しい温泉地のあり方、環境省や関係機関に求めることをまとめたもの

### 楽しく、元気になるプログラムの提供

- ・泉質、地域資源を活かしたプログラムの提供
- ・多様な温泉地間の連携による情報発信
- ・年代、国籍を問わず、長期滞在しやすい宿泊プランづくり

### 「新・湯治」の効果の把握と普及、全国展開

- ・温泉地全体の療養効果等を科学的に把握し、その結果の情報発信
- ・統一フォーマットの提示により、全国的なデータの蓄積、評価、公開
- ・ストレス社会、健康長寿社会における重要性を踏まえた準備

### 温泉地の環境づくり

- ・外湯めぐりの充実といった「にぎわいの創出」
- ・周辺の自然環境等の地域資源を一体的に評価し、持続的な利用
- ・温泉地を拠点とした広域周遊、国立公園満喫プロジェクトとの連携

### 推進体制の構築等

- ・地域会社設立や観光組織（DMO等）の活用による体制づくり、財源確保
- ・地域外の民間企業等との連携
- ・関係省庁の連携

国民保養温泉地が中核的・先進的な役割

### ■発展的な調査について

本調査に加えて、泉質による個別の効能や特定の疾病への効能など、より発展的な調査をする場合は、本調査票による効果測定その他、以下のような評価指標があります。調査を実施する際は、専門的な知識も必要となるため、地元の大学や医療機関などの専門機関への協力を依頼することをお勧めいたします。また、環境省が指定する事業者へご相談いただいても結構です。

No. #	評価分類	評価ツールの例	得られる情報の例	検査手法
1	主観	主観的幸福感	自身の生活（人生）の満足度:QOL	質問紙（VAS）
2	主観	SF-8	精神的健康度・身体的健康度	質問紙
3	主観	OSA睡眠調査票	主観的な睡眠感	質問紙
4	主観	運動器疼痛スケール	膝・腰・肩の痛み	質問紙（VAS）
5	筋・骨格系	立ち上がりテスト、 ツーステップテスト	ロコモ、とくに高齢者に運動機能の 中の移動能力	体力測定
6	筋・骨格系	長座体前屈	柔軟性（腰背部、ハムストリングス 下腿部など）	体力測定
7	循環器	血圧	血圧の変化	血圧計
8	皮膚	水分量・皮脂量・弾力	皮膚の水分・油分・弾力	皮膚計測器
9	生化学	唾液	ストレスの程度	唾液検査
10	生化学	血液	各種ホルモン値、血糖など	採血検査